

日本橋美人街中に

日本橋の活性化を図る企画が、地元企業に勤める女性たちの手によって進められている。その名は「日本橋美人プロジェクト」。「女性の美」という視点を前面に出して、若い女性を呼び込もうという狙いだ。昨年10月にスタートし、「日本橋美人あんぱん」「日本橋美人釜めしランチ」といった約40のオリジナル商品が人気を集めている。

地元OL発イメージ作戦

発案したのは、日本橋の女性会社員たちでつくる「日本橋OLクラブ」(山田晃子さん主宰)。

日本橋は江戸時代から商業の中心地として栄えたが、銀座や丸の内などに比べ、「年配者の街」という印象が強く、若い女性にとって敷居が高い(山田さん)。このため、商業デザイン会社を経営する山田さんが中心となり、女性

を対象にした企画を提案。地元企業などの賛同を得た。

プロジェクトでは「日本橋美人」と冠した商品を地元の各店で販売するほか、日本橋の名所を巡る「日本橋美人ツアー」、「日本橋美人新聞」発行といった活動を展開している。

商品は、コレステロールがゼロのグレイプシードオイルを使ったステーキ定食、コラ

パン、ランチ、着物教室のブランド



日本橋関連の商品が並ぶ「三井越後屋ステーション」(中央区日本橋室町2)

ーゲンたっぷりのフカヒレ水餃子など、女性の関心を集めそうなものばかり。着物教室の「日本橋美人講座」や、ホ

テルの「日本橋美人ステイプラン」なども登場した。プロジェクト代表で、1857年(安政4年)創業の菓子店「栄太楼」相談役の細田安兵衛さん(78)は「女性にはぜひ伝統のある日本橋に来ていただき、感性や品性を磨いてほしい」と話している。